



世界YWCA／YMCA合同祈禱週



2023年11月12日～18日

# 種から花へ

手を取り合って、希望と愛を育てましょう

# CONTENTS 目次

- 3 世界YWCA／YMCA会長からのメッセージ
- 4 はじめに
- 5 第1日：成長への希望をもって、土壌を養う
- 8 第2日：花咲く未来のために、連帯の種をまく
- 11 第3日：恵みをもたらす環境になるよう、注意深く手入れする
- 15 第4日：強い協働関係を作り出す、成長の守り人
- 18 第5日：変革を形作るしなやかさを育むための“剪定”
- 23 第6日：愛とやさしさをもって、一致の果実を収穫する
- 27 第7日：礼拝式文
- 38 聖書日課 2023-2024



## MESSAGE

### 世界YWCA／YMCA会長メッセージ

“種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう”のテーマのもと、私たちは今年の「祈りと交わりの週」を始めようとしています。その準備にあたり、世界的な運動体であり家族としてYWCA・YMCAの一員である私たちを結び付ける深いつながりに思いを巡らせたいと思います。

私たちは、様々な個人が集まった、いわば庭園のようなものです。後の世代のため、より明るい未来に向かって共に前進していますが、それぞれがユニークで、豊かに生い茂るには、私たちが栽培する植物同様に異なった手入れを必要としています。

私たちの運動において、私たちは多様な背景・文化・観点を大切に受け入れます。丁度、庭園で様々な植物を育てることができると同様に、この多様性が美しさと強さをもたらすことを認識するよう、皆さんにお勧めします。もっとお日さまがほしいという植物もあれば、日陰で良く育つものもあります。定期的な水やりが必要なものもあれば、たまに世話するだけで良く育つものもあります。私たちの違いこそが私たちの強さです。このことを認識し、世代を超えた連帯とリーダーシップの分かち合いを大切にしたいと思います。それは、起こりうるどんな障壁も超えて私たちを前進させるのです。

個々の植物に必要なケアをする庭師と同様に私たちも、私たちが仕えるコミュニティの全ての人々が確実に成長し、開花できるようになるよう、耳を傾け、学び、ニーズに合うように支援を適ささせることを通して、お互いに育みあうことができます。人権をもつ人間としてのお互いのユニークさを理解し尊重することで、私たちは真の連帯精神を具現化し、平和・正義・平等の地球規模の庭園づくりに貢献するのです。

種から花への旅路を考察する際に、今日世話したことがすぐには結果を産まない場合もあることも覚えておくようにしましょう。小さな種が力強い木になるには時間がかかるのと同じように、お互いを支え合うためには、適切な環境の創造だけでなく忍耐を必要とするかもしれません。

私たちは変革の種を今日播いて、将来世代が私たちの労力の果実を享受するかもしれません。しかしこれは、個人として、あるいは地球規模の共同体である私たちにとって、今日の行いが、より活気に満ちた、多様性を包み込む明日のYWCA/YMCA運動の基礎となり得るのだということを学び、受け入れる機会にもなります。

この2023年祈禱週に共に集い、私たちの運動を豊かにしてくれる多様性を受け入れられるよう、心を開いて祈りましょう。個々の必要に応え、どの種もみな成長して美しい花を咲かせられるように、安全安心な空間や環境を作ることができ庭師に、思いを馳せてみましょう。この祈禱週が、私たちの心に働きかけて希望と愛を耕させ、前向きな変革のために私たちを結び合わせる絆を強めてくれますように。

私たちがこの心奮い立たせる旅を共に歩むにあたり、皆さんの集いでの黙想や祈り、また行動を楽しみにしています。

温かい思いと連帯のうちに。

**ミラ・リゼック**

世界YWCA会長

**ソヘイラ・ハイエック**

世界YMCA会長

## はじめに

正義、平和、和解、そして癒しを特徴とする明るい未来に向けての展望は、私たちの現代社会における、世代を超えた協力にかかっています。それには、知恵の継承と、未来を形作るための共通したコミットメント（心に決めて深い関与を誓うこと）が求められます。

「正義と平和がお互いに抱擁する（詩編85篇10節）」という世界を作り上げるための基礎として、世代を超えた連帯の重要性を認識しつつ、今年の祈禱週の資料は、「種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう」のテーマを中心に据えています。

その旅路を説明するために私たちは、植物を育てるという比喩を描き出し、植物の成長サイクルの各段階に沿って、1週間の資料を構成しました。つまり、土壌を準備し、種を播き、注意を払って育て、成長の守り人となり、剪定を通して回復力を育み、最後に実を収穫するのです。

世代を超えた連帯の真の精神に基づいて、日々の資料は、異なる世代・異なるジェンダーを代表する個人2人ずつのペアによって、細心の注意を払って作られました。この進め方は、協働作業の強大な力を鮮やかに示しています。私たちの意図は、思慮深く考えられたもので、学者・活動家・聖職者・学生・実践者の洞察と知恵を動員しようというものでした。この資料は、実践的な、実世界での経験から生まれた豊かな知識の証左です。

皆さんが地上における神の国の本質を明らかにしようと励むとき、今回の資料が、インスピレーションの源泉、祝福の源として役立つことを、私たちは心から願っています。地上における神の国とは、正義、平和、限りの無い喜びに特徴づけられる世界です。世代を超えた連帯は、生涯にわたって努力されるべきことであるとの深い理解をもって、今回の資料を分かち合います。

揺るぎない希望と深い謙遜をもって、この資料をお届けします。木が育った時に私たち自身はその木陰で休んだり果実を味わったりは決してできないにしても、それでも今日種を播く。このことが、より明るい未来の探求には伴うかもしれないと十分認識するものです。私たちは、こういった努力が後に続く世代に果実を実らせる、と確信して、そうするのです。

## レベッカ・S・ダニエル

監修者



## — 第1日 成長への希望をもって、 土壌を養う

▽アン・ヘイキネン

ヘルシンキ大学博士研究員 [神学と宗教研究]

フィンランド福音ルーテル教会

▽ムリエール・オレヴィロ・モンテネグロ

アジア太平洋YMCA同盟 宗教間協力フォーラムコーディネーター

### 聖書

歴代誌下 7:14

もしわたしの名をもって呼ばれているわたしの民が、ひざまずいて祈り、わたしの顔を求め、悪の道を捨てて立ち帰るなら、わたしは天から耳を傾け、罪を赦し、彼らの大地をいやす。

使徒言行録 4:31-32

祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語りだした。信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、すべてを共有していた。

### 導入

土地を耕すときの‘準備’とは、栽培に適するように土を砕くイメージです。このことは、何であれ物事を変えて活発にさせたいときには、多くの事前の作業を伴うことを私たちに示します。

変革の準備は、世代を超えて行われる必要があります。これはつまり、次の世代の若い人たちを養い育て、畑を耕す務めを引き継ぎ、土を健康に保つ働きをすることで、豊かな収穫がもたらされ、それが今後も続く成長への希望をもって社会を育てる、ということです。この務めは困難です。なぜなら、将来耕されるべき土は硬いからです。土を養うための準備作業は、協働作業でなされるべきものです。共同体の活動となる必要があります。

## 文脈から聖書を読む

歴代誌上7章14節は、ソロモン王の祈りへの神の応答です。ソロモン王は、自分の民が経験した試練や災難に直面して神に祈りました。神がソロモンに与えた応答は、人々が傲慢になり、神に背を向けたということでした。彼らは不正を働き、彼らの持っていた美德を完全に失っていたのです。

今日、世界は同じような状況です。人類の傲慢が、人々と地球に数えきれないほどの災害を引き起こしています。世界を人間の自信過剰の頂点に導く不均衡な発展が作り上げられ、「新入世」<sup>※1</sup>の出現に至ったのです。これは、家父長制と資本主義を結び付けたような制度で、女性、子ども、周縁化された人々を搾取・抑圧し、その人たちは「帝国」を動かすコマとして投入されるのです。資本のグローバル化は、新自由主義によって加速され、周縁化された人々に公正な賃金やその他多くの利益分配を与えず、経済プロセスへの参加から締め出しました。このような世界を作り替えるためには、世代を超えた行動が必要です。

使徒言行録4章は、私たちが導くことができる共同生活のイメージとモデルを示します。祈りを終え、聖霊に満たされた後、初期のキリスト者たちは、分かち合いと一致の生活をしました。彼らが「持てるものすべてを分かち合った」ということは、異なるアイデンティティを持つもの同士の深い連帯と相互の繋がりに根差した生活様式を意味します。私の喜び、私の成功、私のもつ才能や力は、あなたのもの。あなたの苦しみ、試練、そして痛みは私のもの。持てるものすべてを共有するという、信仰共同体におけるこの一致の物語は、21世紀の私たちの世界では、すばらしすぎて本当とは思えないかもしれません。共同生活は、年齢・性別・アイデンティティ・障がいの有無に関らずあらゆる人が平等でいられるような、安全な空間を常に提供するとは限りません。使徒言行録のこの箇所は、より公正で持続可能な未来を打ち建てる上での、共同体や共同生活の偉大な力を表しています。このことは、意識づけと意図的行動なしには起こり得ません。私たちの世界の苦しみと不均衡の主たる理由の一つは、人類がこれまですべてを包含する姿勢に欠けてきて、階層を作って一部の人を周縁に追いやったことです。これはまた、共同体においての若者についてもあてはまります。

今日、人類は強欲によって身動きがとれなくなっています。共同体の組織化という言葉を使う上で、「持つ者」と「持たざる者」の間の溝は、より深く、より広がっています。人間の命は、商品のようにさえなりつつあります。社会変革のために働くことは、価値観の変化と深い使命感をもった関わりを必要とする重大な事柄です。それはあらゆる年齢層やアイデンティティの人々が相互に関わり、共通して神の国の変革に取り組むことを、求めます。子どもたちや若い人々は、未来への希望であるだけでなく、今果たすべき役割や影響力を持っているという見方をすることが求められています。ひとつになっている公正で持続可能な共同体においては、人間のあらゆる階層は力を失い、私たちはお互いから学び合うことができます。若い人々は預言者的な声となり、年上の世代は知恵を分かち合うことができます。正義と平和を実現する社会変革のための、世代を超えた行動のプロセスに、誰もがみな含まれるべきなのです。

※1：人間が地球に与えた影響を特徴とする、新しい地質時代を指す。

### 思いを深めるための設問 ～話し合ってみましょう～

1. YWCAとYMCAは、歴代誌7:14および使徒言行録4:31-32のメッセージを生きるよう、どのようにして会員や地域社会を励ましていけばよいですか？
2. どのようにして、またどの程度、YWCAとYMCAは、社会の状況を研究・分析し、社会正義のために運動を起こしていますか？ そういった努力の中に、若い人は含まれていますか？
3. YWCA、YMCAとして、若い人たちをより深い学びや活動に巻き込むための、どんな計画を持っていますか？（スポーツ、フィットネス、寄付活動以外で。）

### 思いを深めるためのワーク

1. “種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう”のテーマで、俳句を書いてみましょう。俳句とは日本の詩で、全体で17音節・3行で書かれています。最初の行は5音節、2行めは7音節、3行めは5音節です。
2. 大切なことを明確にするワークと、決意のワーク
  - ・朝起きてから夜寝るまでの間に、私たちがしていること・使っている物などを書き出してみます。
  - ・あなたのリストの中で、あなた以外の人や地球に対して害を与えることは、何がありますか？ それなしでも済ませられるものには何がありますか？ 害を与えない暮らし方への決意を書き、毎日見て思い出せるよう鏡に貼ります。
  - ・可能なら、このワークを他の人と共有し、どうしたら書き出した目標に心注ぐことができるか、一緒に考えます。個々人がより持続可能な生活様式を保つことができるようにサポートするような、より公正で安全なコミュニティが望まれます。それを提供するためには、どのようにして適切な共同体構造や運営指針を作ればよいでしょう？

### 祈り

私たちを一致へと招き、連帯と分かち合いに根差す共同体のつくり方を示してくださる、父と子と聖霊、三位一体の神さま。

私たちを助け、人々が有害な階層主義や固定観念や態度から解放される空間を準備できるようにしてください。

私たちの心を開き、他者の視点を認識・理解できるようにし、またお互いから学ぶことができるよう助けてください。  
アーメン



## — 第2日

# 花咲く未来のために、 連帯の種をまく

▽エステル・サカリア

Oniipa Infohut ファシリテーター / 議長

LUCSA (Lutheran Communion in Southern Africa) 南アフリカ・ルター派教会共同体の女性代表

▽ニコラ・アッシュウッド

世界教会協議会「女性と男性の公正な共同体」プログラム責任者

### 聖書

コリントの信徒への手紙— 3章4-8節

<sup>4</sup> ある人が「わたしはパウロにつく」と言い、他の人が「わたしはアポロに」などと言っているとすれば、あなたがたは、ただの人にすぎないではありませんか。<sup>5</sup> アポロとは何者か。また、パウロとは何者か。この二人は、あなたがたを信仰に導くためにそれぞれ主がお与えになった分に応じて仕えた者です。<sup>6</sup> わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。<sup>7</sup> ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。<sup>8</sup> 植える者と水を注ぐ者とは一つですが、それぞれが働きに応じて自分の報酬を受け取るようになります。

### 導入

種を播くと、私たちは継続的にその植物に栄養を与え、育ち始めたら虫や動物から守ります。虫が木を痛めつけ、植物の命が危険に晒されることがあります。同じことは、試練を経験し、焦点を見失いつつある人にも起こる場合があります。その人の為にそばにいる（寄り添う）ことは、たとえ本人が混乱していたとしても、害虫やその他のものから解放するための栄養や水を提供するようなものです。私たちは、自分が困難にあるときに他者にしてほしいと望むように、友となることが必要です。自分たちが必要な支援のシステムに、私たち自身がならなくてはなりません。私たちが、誰かの人生に苗を植えたり種を播いたりするとき、その人たちに何を教え報せたいのか、考えてみる必要があります。

## 文脈から聖書を読む

筆者パウロが自分と同労者アポロとコリントの教会との関係について語る時、自分たちの教えが及ぼす影響を、植物を育てる過程になぞらえます。種が育つためには、適切な土に播かれ、水を与えられ、太陽からの他の栄養も受けることが必要のように、彼らの教えや当時の指導者たちの導きは、コリントの教会メンバーたちに影響を与えたということです。

この前向きな立場をとることによって、パウロは分裂ではなく連帯の種を播きました。これは私たちの関係性においても同様です。他者の言葉や行いが、私たちの考えや行動に影響するからです。自信についてのある調査によると、世界の85%の人が自己肯定感の問題に苦しみ、自分が不十分で、愛されるに足らず、役に立たないと感じていると言います。その研究はまた、自己肯定感の低い女子高校生の75%が、自傷行為、いじめ、喫煙、飲酒、摂食障害などに陥る可能性が高いことを示唆しています。70%かそれ以上の10代が親とのコミュニケーションの改善を望み、また他の研究報告によると、成人の66%が、自分を信頼してくれる存在の欠如が自己肯定感の低下に寄与すると感じていると言います。育てることや植えることはとても大切なことです。前向きな気持ちで他者の中に何かを植えることを選択するなら、それはその人たちの自己肯定感を高め、未来のための堅固な土台を築くことになります。ですから、YWCA/YMCA運動のなすべき務めは、この統計に表れている不安の構造を作り替え、私たちの共同体がよりよい協力体制をもてるようにすることです。

アフリカの‘ウブントゥ哲学’では、「私たちがいるから私がある」とされ、私たちがいかに他者の人生の中に種を播くかが語られます。Ubuntu という単語は、ズールー語の「Umuntu ngumuntu ngabantu」というフレーズの一部で、これは、「人は、他の人たちを通して人になる」という意味です。つまり、私たちは人生のあらゆる過程においてお互いを必要としている、ということです。<sup>※2</sup> 私たちの関係性は、相互に助け合うものでなければならないのです。

同じことが、共同体において後進を育てる場合にもあてはまります。私たちは、そばに寄り添い、その人が自分の足で立てようになるまで支援することが肝要です。マタイによる福音書6章3節には、「あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。」とありますから、私たちがお互いに支援し合うとき、自分の努力に対してお返しがあることや謝辞を期待してはなりません。

私たちの社会では、暴力が衰えることなく続いています。人々が他者の話を聞くことに興味を持つのは、助けの手を伸ばすためよりも噂話のためだからです。もしも私たちが、これを、レイプされた見知らぬ少女を支援するような支援システム、被害者の後ろではなく横に並んで歩くことができ、さらに被害にさらすことのない支援システムに変えていくなら、私たちは実に他者を育み、その周りを耕して、彼女たちが実りを得ることを助けるのです。

あらゆる関係性を大切にすることで、私たちはウブントゥ哲学を生きており、未来のために豊かな共同体を生み出しているのです。私たちは、いつでもどこでも可能な限り、大切なものから目をそらさせる要素や否定的な要素を取り除き、試練のときには回復に向けたサポートを提供しなければなりません。

神は、個人としても集団としても、他者の人生に前向きな種を播いて栄養を注ぐよう、私たちの人生の中に人を配置されます。それは、パウロとアポロとがコリントの共同体に出会った時に起こったのと同じです。そして、それが、YWCA/YMCA運動が目指すことです。若い人たちが育つための機会を提供・創出し、前向きな意思決定技術を体験させ、指導的役割を提供することは、若い人が豊かな実りをもたらすリーダーとなることを長きにわたって助けます。私たちは、今この季節にもよりよい共同体を築くのです。

※2: What does Ubuntu really mean? | The Guardian (ガーディアン紙『ウブントゥの本当の意味は?』)

### 思いを深めるための設問 ～話し合ってみましょう～

1. 誰があなたの人生に、前向きな種を播いてくれましたか？（もしもその人が今同じ部屋にいるなら、感謝のメモを書きましょう。）
2. 苦しみや否定的な気持ちにある人がいるとき、あなたはその人を助けるために何をしましたか？ あなたの場合、誰があなたにその動機を与えましたか？
3. 成長してよりよい人になろうとする人のために、あなたはどのように支援したことがありますか？
4. 否定的で消極的な種が播かれたとき、あなたはどこに神の介入を見ましたか？

### 思いを深めるためのワーク

ワークのために準備されたスペースに、土の写真か絵を貼り付けます。必要なもの：種、土、太陽、水、肥料（このワークで使うために切り抜きを用意します。この活動を補完するために、ほんものの畑を用意してもいいです。）

1. 女性か男性計2人を特定し、その1人はあなたより年上、一人は年下にします。2人の名前を「種」として、「土」のところに置きます。
2. それらが良い土に播かれた種だったなら、それぞれの可能性を育てて良い実を結ぶために、何が必要でしょうか？（メンタリング〔個別の指導育成関係〕、能力の拡大強化、権利擁護、セーフスペース、カウンセリング、祈りなど。育成を促すそれぞれの行為を、「水滴」として、「土」の上に起きます。励ましの言葉は、「太陽の光」です。）
3. 種には、どのくらいの頻度で水やりや肥料が必要でしょうか？
4. 短期／中期／長期的な育成において、メンタリングや励ましを通じて、どのように「種」を育てることができるでしょう？（これは、コミュニティの中で誰かを育てる個人的な、または集団としての取り組みで、活動の予定を立て、進み具合を追跡することができます。）
5. 必要な頻度で水を与える計画を作ります。あなたが育成の行動をとるたびに、「土」に新たな「水滴」を加えます。（太陽の光を注ぎ続けることも忘れずに。）変化に注目し、他にどんな栄養素が必要なのかを見きわめます。できる限り水やりを続けます。
6. それぞれの豊かな実りを見守ります。感謝の言葉を書きます。

### 祈り

全てを創造し、また種を播かれる神さま。あなたの望まれるように仕えることができているか、自らを振り返る機会を与えて下さり、ありがとうございます。私たちに助けて、自分の歩む道のすぐ横を歩いてくれた人に気づき、私たちのめぐみを数えることができるようにしてください。そうすることで、私たちにもその横を歩くべき人があることに、気づかせてもらえるにちがいありません。今日、そして永遠に、私たちのところに来て助けてください。アーメン



## — 第3日

# 恵みをもたらす環境になるよう、 注意深く手入れする

▽エレーン・ニューエンフェルト

ACT Alliance (アクトアライアンス) ジェンダー正義プログラム責任者

## 聖書

### 創世記24章28節

娘(リベカ)は走って行き、母の家の者に出来事を告げた。

### 旧約聖書 雅歌3章4節

彼らに別れるとすぐに

恋い慕う人が見つかりました。

つかまえました、もう離しません。

母の家に

わたしを産んだ母の部屋にお連れします。

### 雅歌8章1-2節

1 あなたが、わたしの母の乳房を吸った

本当の兄だと思ふ人なら

わたしをとがめたりはしないでしょう

外であなたにお会いして

くちづけするわたしを見ても。

2 わたしを育ててくれた母の家に

あなたをお連れして

香り高いぶどう酒を

ざくろの飲み物を差し上げます。

3 あの人が左の腕をわたしの頭の下に伸べ

右の腕でわたしを抱いてくださればよいのに。

## 導入

恵みをもたらす環境を作る、ということは、成長を促進するような安全ないたわりの空間を作ることです。安全な空間（セーフスペース）とは、完全で安全と感じられる場所です。セーフスペースは、現実の空間でも、仮想空間でもあり得ます。そこでは、人々は秘密を守られ、良い・悪いと裁かれることなく自分の経験を分かち合うことができます。そこでは、手を取ってもらえずに1人にされることはありません。手をつなぐということは、共にあること・親しみ交わることの印です。セーフスペースは、学びの場。そこでは知恵が踊るように巡り、世代を超えた知識が、分かち合われるのです。誰もが平等に、敬意とやさしさと思いやりをもって扱われます。怖れる心は、必ずしも克服すべきものとしてでなく、存在を認め受け止める対象として、認められ、向き合われます。セーフスペースはまた、楽しみ・喜び・愛を体験する場でもあります。人々がお互いの違いを理解し、共に呼吸する、神聖な尊い存在として認め合うことのできる場なのです。

## 文脈から聖書を読む

この聖書箇所での考察は、怖れを克服するためのセーフスペースとしての「母の家」に焦点を当てます。聖書において「母の家」は、「父の家」と同じ重要性を持つ存在です。ただ、唯一の違いは、「母の家」については聖書にほんの少しの言及しかないということです。「母の家」は、客人を招き入れ、食事をふるまい、結婚やその他の家族に関わる事柄の交渉に当たる場所です。それは必ずしも物理的な場所である必要はなく、生物学的な母である必要もありませんが、世代を超えた知識が共有され、安全安心が体験される場所です。そこでは、若い女性が安心して自分自身でいられ、学んだことを考え巡らせ、最愛の人を連れて来る場合もあります。そこは世代を超えて行動を継続していくことを助ける知恵の源でもあります。人生における決断をするための確かな情報を得る場所です。

ここに、旧約聖書に登場する「母の家」のいくつかを挙げます。

創世記24章は、若い女性であるリベカが、どのようにしてアブラハムの息子イサクとの結婚を約束するに至ったかを物語ります。リベカは井戸で水を汲んでいて、アブラハムが息子イサクの結婚相手を見つけるために派遣していた僕（しもべ）に出会いました。会話のはじめにリベカは、彼の訪問の意図を聞かされ、贈り物として宝石を受け取りました。そこで彼女は母の家に走り、自分に何が起きているかを皆に伝えました。家族との交渉が行われた後、この若い女性は自分の意思を問われた、と物語は続きます。兄弟と母はどちらも会話の中で結婚についての意見を述べましたが、若い女性自身が結婚したいかどうか自分の意見を言うように促したのです。リベカが結婚の受諾を述べた後、初めて彼女は婚約者イサクに会うようにと送り出されたのです。後に2人が会ったとき、「イサクは、母サラの天幕に彼女を案内した。彼はリベカを迎えて妻とし、彼女を愛した。」と創世記24章67節にあります。この物語は、母の家についての情報を私たちに与えてくれます。それは、若い女性が心地よく感じ、自分の個人的な生活のことや、井戸端で出会った出来事について駆け込んで話す場所です。それは、未来を語り合い、全ての人の声や意見が聴かれる場所です。これはまた、若い男性であるイサクにも体験されたことで、結婚したばかりの配偶者と一緒に遠慮なく母の家を訪れることができたのです。そしてそこは彼らが自分たち自身の愛のときとしての最初の性的関係を持った場所でもありました。ルツ記1章の、ナオミと2人の義理の娘たちの物語は、悲しみと苦しみに満ちています。この3人の女性たちは、家父長制社会で生きのびることに苦闘します。そこでは、妻・娘・姉妹・母として家族に属し、男性に属することと結びついた価値観が残っています。この文脈において、ナオミが夫を失った2人の若い女性たちをそれぞれの母の家に送り返そうとしたことは注目に値します。なぜなら、それは世代を超えた協力を保ってセーフスペースを作るための制度的な仕組みのように思われるからです。この2人の女性たちは、親の家に帰るからといって自分たちが見捨てられるわけではないことが分かっていました。だからこそ1人（オルパ）は帰ることに決めたのです。オルパが帰ることについては、なんのあつれきも失望もありません。彼女たちはお互いに口づけを交わし、別れを告げるのです。オルパが義理の母に背を向けたという解釈が広まり、それによって女同士の敵対が煽られてきましたが、この聖書箇所は、

彼女たちの別れに多くの気遣いや愛があったことを伝えています。1人が自分の母の家に帰ることに決め、もう1人は義理の母に付き従うことに決めたことについて、恨みや怒りの兆候は何もないのです。母の家に帰ることは、セーフスペースに行くことだ、ということを女性たちが理解していたからかもしれません。決断はそれほど難しくはなく、ナオミと一緒にいるのは義理の娘1人で十分であり、新しい場所で予測のつかない未知の状況に直面せざるを得ない彼女たちにとって道理に適ったことでした。

雅歌からの2つの箇所(3章4節と、8章1-3節)は「母の家」を定義するには謎めいています。そこは、1人の若い女性が最愛の人を安心して連れて来れ、また愛を交わせる場所です。そこは、何世代にも渡って、愛を教わり、学ぶ場所です。雅歌は、若い女性と若い男性が自由に、また先入観なしに愛を表現する書物です。それは聖書における愛の詩で、愛なる神を表現しています。この愛は、世代から世代に、母から娘に伝えられ、母の胸で養われるように学ばれます。母親の務めは、セーフスペースを育て、作り上げることで、そこでは恐れがきちんと名付けられ向き合われます。怖れをなきものにしておくのではなく、怖れに向き合って克服する手法です。その手法は、安全で癒される関係性の中で、行動がうまくいくようにする仕組みとして学ばれます。

多くの人々は、危機や不確実性の時代に、導きや慰めを宗教に求めます。宗教や信仰心は、心の傷や悩みに対処するための大切な方法です。私たちの中で、教会や信仰にもとづく団体や教会関連団体での仕事に日々従事している者は、なぜ変革を起こすために信仰的指導者、信仰共同体、あるいは宗教全般と共に働く必要があるのかを、明確にするために用いられています。世代を超え、また宗教の違いを超えた連帯のうちに働くことのできるセーフスペースを養い育てるのは大切なことです。セーフスペースに加わることで、怖れを克服するための連帯を育てること、そしてお互いに学び合うことは、太陽が毎朝昇るように、私たちも常に立ち上がり続けることができるための原動力となります。それは、星を見たときに、宇宙と私たちすべてを保つ力の存在を信じるときのあの強い感情のようなものです。共にあることは、なじみのある歌を歌い、目を閉じて祈るときの心動かされるエネルギーの感覚です。セーフスペースで産み出される連帯感、あなたたちが望むことを確かなものにします。それは愛すること、愛されること、受け入れられること、愛に満ちた腕で温かく抱きしめられること。

信仰とは、望んでいることや、見えないことを確信することです。信仰とは、行動を伴う希望で、連帯のうちに行動し、貪欲には抵抗し、分かち合いたいという衝動です。知的な定義を超えて、信仰と希望と愛は私たちの心の中に宿っています。これらは、セーフスペースを作るための基盤であり、「母の家」のように、愛と信頼によって建てられるのです。

### 思いを深めるための設問 ~話し合ってみましょう~

1. 私たちの生活の中で、今日の世界の中で、セーフスペースを必要とするような怖れの原因になっているのは何でしょうか？
2. 「母の家」にいるときのように、愛や恐れが克服が感じられるような空間、それによって世代を超えた結びつきが可能となるような空間を、私たちはどのようにして見つけ、作ることができるでしょうか？
3. セーフスペースを育てるにあたって、信仰の果たす役割は何でしょうか？ 怖れを取り扱ったりセーフスペースを作るにあたって、信仰とその役割を、あなたはどんなふうに理解しますか？
4. あなたの地域社会で、どこにセーフスペースを見出しますか？ 誰もがセーフスペースにアクセスするには、どうしたらよいでしょうか？

## 思いを深めるためのワーク

あなたにとってのセーフスペースがどんなものか、絵に描いてみてください。そのスペースを共有したい人たちの名前を挙げてみます。招きたい人それぞれに対し、歓迎と励ましの言葉を添えます。可能なら、それらの友にあなたのセーフスペースの絵と、あなたの書いた言葉、私のセーフスペースと一緒にいてねというメッセージを見せます。(直接でも電子メッセージでも)

この同じ活動は、グループでもできます。参加者に、2人一組で座って、一緒に共通のセーフスペースを描くよう勧めます。それぞれが、お互いに歓迎と励ましの言葉を贈ります。

## 祈り

祈ることは、神との対話に入ることです。祈りを通して自分自身の怖れを表現することは、前向きな効果をもたらし、私たちの恐れと夢が何であるのかを明らかにしてそれらと向き合うことができるようになります。そのことに信頼して、さあ祈りましょう。

イブの神さまが、あなたに踊ることを教えてくださいますように。

ハガルの神さまが、砂漠の中に慰めを与えてくださいますように。

ミリアムの神さまが、あなたが苦しんでいる時に仲間を与えてくださいますように。

デボラの神さまが、あなたの闘いに勇気を教えてくださいますように。

マリアとマルタを知っておられたキリストが、あなたにバランスのとり方を示してくださいますように。

身体の前かがみになった女性を癒されたキリストが、あなたの痛みを癒してくださいますように。

マグダラのマリアのキリストが、あなたの物語を宣べ伝えるために、あなたを派遣してくださいますように。

記憶であり希望であり未来を司る権威であるキリストの名前によって祈ります。

世界教会協議会のためにジェーン・スタンズが作成した礼拝テキストより。



## — 第4日

# 強い協働関係を作り出す、 成長の守り人

▽カーラ・ステイルマン・フランコ

パラグアイ・リバープレート福音教会牧師

▽ヴィジ・ヴァーゲース・イーパン

南インド教会長老(マディア・ケララ教区)

## 聖書

今日と明日の聖書箇所は、ルツとナオミの物語からです。今日は、広くルツ記全体を取り上げ、明日はルツからのある特定のメッセージに焦点を当てます。ルツの物語には、世代を超えた連帯というテーマを探求する上での豊かさがありますので、私たちは2日間をこの書に充て、それぞれ違う点を強調していくことにしました。

### ルツ記4章1節-17節

<sup>1</sup>ボアズが町の門のところへ上って行って座ると、折よく、ボアズが話していた当の親戚の人が通り過ぎようとした。「引き返してここにお座りください」と言うと、その人は引き返してきて座った。<sup>2</sup>ボアズは町の長老のうちから十人を選び、ここに座ってくださいと頼んだので、彼らも座った。<sup>3</sup>ボアズはその親戚の人に言った。

「モアブの野から帰って来たナオミが、わたしたちの一族エリメレクの所有する畑地を手放そうとしています。<sup>4</sup>それでわたしの考えをお耳に入れたと思ったのです。もしあなたに責任を果たすおつもりがあるのでしたら、この裁きの座にいる人々と民の長老たちの前で買い取ってください。もし責任を果たせないのであれば、わたしにそう言ってください。それならわたしが考えます。責任を負っている人はあなたのほかになく、わたしはその次の者ですから。」

「それではわたしがその責任を果たしましょう」と彼が言うと、<sup>5</sup>ボアズは続けた。

「あなたがナオミの手から畑地を買い取るときには、亡くなった息子の妻であるモアブの婦人ルツも引き取らなければなりません。故人の名をその嗣業の土地に再興するためです。」

<sup>6</sup>すると親戚の人は言った。

「そこまで責任を負うことは、わたしにはできかねます。それではわたしの嗣業を損なうこととなります。親族としてわたしが果たすべき責任をあなたが果たしてくださいませんか。そこまで責任を負うことは、わたしにはできかねます。」

<sup>7</sup>かつてイスラエルでは、親族としての責任の履行や譲渡にあたって、一切の手続きを認証するためには、当事者が自分の履物を脱いで相手に渡すことになっていた。これが、イスラエルにおける認証の手続きであった。<sup>8</sup>その親戚の人は、「どうぞあなたがその人をお引き取りください」とボアズに言って、履物を脱いだ。<sup>9</sup>ボアズはそこで、長老とすべての民に言った。

「あなたがたは、今日、わたしがエリメレクとキルヨンとマフロンの遺産をことごとくナオミの手から買い取ったことの証人になったのです。<sup>10</sup>また、わたしはマフロンの妻であったモアブの婦人ルツも引き取って妻とします。故人の名をその嗣業の土地に再興するため、また故人の名が一族や郷里の門から絶えてしまわないためです。あなたがたは、今日、このことの証人になったのです。」

<sup>11</sup>門のところをいたすすべての民と長老たちは言った。

「そうです、わたしたちは証人です。あなたが家に迎え入れる婦人を、どうか、主がイスラエルの家を建てたラケルとレアの二人のようにしてくださるように。また、あなたがエフラタで富を増し、ベツレヘムで名をあげられるように。<sup>12</sup>どうか、主がこの若い婦人によってあなたに子宝をお与えになり、タマルがユダのために産んだペレツの家のように、御家庭が恵まれるように。」

<sup>13</sup>ボアズはこうしてルツをめとったので、ルツはボアズの妻となり、ボアズは彼女のところに入った。主が身ごもらせたので、ルツは男の子を産んだ。<sup>14</sup>女たちはナオミに言った。

「主をたたえよ。主はあなたを見捨てることなく、家を絶やさぬ責任のある人を今日お与えくださいました。どうか、イスラエルでその子の名があげられますように。<sup>15</sup>その子はあなたの魂を生き返らせる者となり、老後の支えとなるでしょう。あなたを愛する嫁、七人の息子にもまさるあの嫁がその子を産んだのですから。」

<sup>16</sup>ナオミはその乳飲み子をふところに抱き上げ、養い育てた。<sup>17</sup>近所の婦人たちは、ナオミに子供が生まれたと言って、その子に名前を付け、その子をオベドと名付けた。オベドはエッサイの父、エッサイはダビデの父である。

## 導入

コミュニティは、連帯によって成長します。ですから、一致・連帯を作り上げることは、変革をもたらす行動にとって不可欠です。一致には、違いを克服し、それぞれのうちにある思いやりを新たに活性化させ、困難の中でも変革を追究することを伴います。

## 文脈から聖書を読む

ここからのテキストは、ルツ記の物語に基づきます。ですから、物語の展開を理解してそこに繋がるため、皆さんにはルツ記4章だけではなく全章を読むことをお勧めします。主たる登場人物は、2人の女性と1人の男性です。2人の夫を亡くした女性（義理の母と義理の娘）、および遠い親戚にあたる男性です。その他の登場人物は、物語の展開を補足するために出て来るだけです。偶然のことは何もなく、すべてには理由があります。

出来事はベツレヘムとモアブの間を行ったり来たりしていて、登場人物たちも同様です。まず最初に、彼らは飢饉によって、モアブに移動することを余儀なくされるという特殊な成り行きをたどります。同様の流れで、ルツとナオミも、それぞれの夫の死後、不安定な状況の中、ベツレヘムに戻ることを余儀なくされるのです。ベツレヘムへの到着は、この2人の女性が非常に困難な環境（特に女性にとって）を生きのびるための最後の試みでした。まさにこの場所で、彼女たちの人生、歴史の流れ、そしてこの場所の重要性が永遠に変わったのです。

ルツとナオミとボアズの物語は、ユダヤの歴史の中で士師（指導者）たちが治めていた時代に起こりました。悲劇がハッピーエンドで終わる物語で、誰にでもいつの時代にも起こり得るものです。ルツ記の4つの章は、2人の女性の運命と、非の打ちどころがないボアズの反応と行動に注目します。ボアズは決して自分の責任を回避せず、2人の女性を助ける覚悟があったのです。この意味において、この書は、女性たち・男性たち・外国人たちが、相互の連帯を高める後見人＝守り人になる自分の使命と役割に、どのように気づくかを語る明確な例を示している、と言うことができます。

ここで3つのことを指摘しておきます。

1. ボアズは、ルツが外国人であることで、なんら異なる扱いをしたり、問題視したりしませんでした。彼は彼女を家族の一員、尊敬すべき1人の女性として受け入れました。土地とルツを引き受けることによって、彼はナオミの家族の後見人、身請け人となったのです。実際、これは慈善行為ではなく、連帯と協力でした。
2. ルツとナオミの関係は、異なる背景をもち、異なる世代を代表する2人が、当時の社会にあつて、またどんな社会にあつても共生する、敬意と愛に満ちた結びつきを映し出します。ここでルツとナオミは、利己的な目的のための同盟よりも共通利益のための自己犠牲を強調するような、本質的なつながりの形を示しています。連帯に仕える者となるためには、一時的な同盟よりも恒久的なつながりを作り出すことが求められています。
3. 3人の登場人物の結びつきによって、この物語はとても特殊な展開を辿り、そこにおけるもっとも大切なことは、他者のため、とりわけ危険に晒されている人のために行動することです。(ルツに取った行動と、ボアズがルツとナオミに取った行動を並べてみてください。)

このような形の関係性は、世代を超え、性別を超え、人種を超えた誓約を明らかにし、効果的で解放的な連帯の基礎となります。

### 思いを深めるためのワーク

私たちの心を鼓舞するようなこの物語を心に留め、異なる世代の家族の写真を持ち寄ることをお勧めします。過去のものでも現在のものでも構いません。可能なら、あなたの知っている人で、多様な国や人種・階級出身の人の写真があると良いでしょう。そしてもちろんあなた自身の写真も。テーブルの上、あるいはみなが見られる場所に写真を広げ、多種多様な顔が見えるようにしましょう。

### 思いを深めるための設問 ～話し合ってみましょう～

以下の質問事項について、共有された写真を使って思いを語ってください。

- a. これらの人々(写真の中の)は、どのようにお互いに結びついているでしょう？
- b. 私たちとはどのように結びついているでしょう？
- c. これらの人々は、今日私たちにどのような助けや助言を与えてくれるでしょう？
- d. もしこの人たちがここにいるなら、私たちはどのように関りをもちますか？
- e. 連帯の守り人として、共通の繁栄のために、私たちはどのようにしてお互いに結びつくことができるのでしょうか？

最後に、しばらく黙とうをささげ、写真の中の人々のことを考えるよう招きます。同時に、私たちの周りで、また世界中で、私たち同様に、全ての人のために一致・敬意・愛のある世界を目指して日々奮闘している人々にも思い巡らせましょう。

### 祈り

全ての国々、全ての世代の神さま。あなたが命という素晴らしい宝物をあらゆる形で与えてくださっていることに感謝します。私たちが互いに愛し、尊敬し、思いやることができるよう、あなたの霊を私たちに注ぎこみ、あなたの知恵を教えてください。私たちがしばしば、他者を自分たちの一部と受け止めたり、他者と共存し他者の利益のために行動したりすることができなかつたことを認めます。私たちを赦し、全ての人に喜び・正義・平和をもたらす連帯の守り人に作り替えてください。イエスの名によって祈ります。アーメン



## — 第5日

# 変革を形作る しなやかさを育むための“剪定”

▽ナンタンド・ハデベ

Side by Side 国際コーディネーター、Bread for the Worldジェンダーコンサルタント

▽サヴァンナ・サリヴァン

ルーテル世界連盟ユース担当プログラム責任者

### 聖書

#### ルツ記1章1-14節

<sup>1</sup> 士師が世を治めていたころ、飢饉が国を襲ったので、ある人が妻と二人の息子を連れて、ユダのベツレヘムからモアブの野に移り住んだ。<sup>2</sup> その人は名をエリメレク、妻はナオミ、二人の息子はマフロンとキルヨンといい、ユダのベツレヘム出身のエフラタ族の者であった。彼らはモアブの野に着き、そこに住んだ。<sup>3</sup> 夫エリメレクは、ナオミと二人の息子を残して死んだ。

<sup>4</sup> 息子たちはその後、モアブの女を妻とした。一人はオルパ、もう一人はルツといった。十年ほどそこに暮らしたが、<sup>5</sup> マフロンとキルヨンの二人も死に、ナオミは夫と二人の息子に先立たれ、一人残された。<sup>6</sup> ナオミは、モアブの野を去って国に帰ることにし、嫁たちも従った。主がその民を顧み、食べ物をお与えになったということを彼女はモアブの野で聞いたのである。

<sup>7</sup> ナオミは住み慣れた場所を後にし、二人の嫁もついて行った。

故国ユダに帰る道すがら、<sup>8</sup> ナオミは二人の嫁に言った。

「自分の里に帰りなさい。あなたたちは死んだ息子にもわたしにもよく尽くしてくれた。どうか主がそれに報い、あなたたちに慈しみを垂れてくださいますように。<sup>9</sup> どうか主がそれぞれに新しい嫁ぎ先を与え、あなたたちが安らぎを得られますように。」

ナオミが二人に別れの口づけをすると、二人は声をあげて泣いて、<sup>10</sup> 言った。「いいえ、御一緒にあなたの民のもとへ帰ります。」

11 ナオミは言った。

「わたしの娘たちよ、帰りなさい。どうしてついて来るのですか。あなたたちの夫になるような子供がわたしの胎内にまだいるとも思っているのですか。12 わたしの娘たちよ、帰りなさい。わたしはもう年をとって、再婚などできはしません。たとえば、まだ望みがあると考えて、今夜にでもだれかのもとに嫁ぎ、子供を産んだとしても、13 その子たちが大きくなるまであなたたちは待つつもりですか。それまで嫁がずに過ごすつもりですか。わたしの娘たちよ、それはいけません。あなたたちよりもわたしの方がはるかにつらいのです。主の御手がわたしに下されたのですから。」

14 二人はまた声をあげて泣いた。オルパはやがて、しゅうとめに別れの口づけをしたが、ルツはすがりついて離れなかった。

## 導入

剪定と言うのは、植物の枯れた部分や病気になっている枝を切り取って、成長して実を結び豊かに栄えることができるようにする行為です。植物は自分で剪定することは出来ません - 自分で選べるなら、自身の一部を切り取るという‘痛みを伴うプロセス’を経験したくはないかもしれませんね。同様に、人生において、自分の外側にある状況が、成長や変革や繁栄を妨げるような慣習や信念を‘切り落とし’たり、変えさせるといったことが起こります。こういった人生の出来事は個人的なことに思えますが、実際のところ、若い人や女性・少女の生活に影響する、より広い社会や不正義・不平等の構造に、深く埋め込まれています。「剪定」はまた、私たちが自分自身やコミュニティの中にある、自分に害を与えたり成長の邪魔をしたりするような部分を特定し、それを切り落として新たな成長を始める決心をする際にも起こります。

つまり、剪定には2つの側面があるのです。(1) 私たちに適応や変化を促す生活の状況 (2) 人生や社会を豊かにしたり変革したりすることに反して働く信念や習慣を「剪定」することを選ぶ行動 ですから、「剪定される」ことと「剪定する」ことは、相互に関連した概念なのです。

## 文脈から聖書を読む

これは移民の物語であり、土地を持たないこと、貧しいこと、生き残るための唯一の選択肢として婚姻関係に閉じ込められること…など、女性が直面する問題を語り、いろいろな意味での脆弱性を示すものです。ナオミと夫と2人の息子は、住んでいた土地の干ばつにより、生き残るために移住することを余儀なくされます。新たな地モアブで、息子たちはそれぞれルツとオルパという女性と結婚します。後に夫と息子たちは死んでしましますが、それは家父長制の文化においては女性にとっての大惨事でした。それは、彼女たちを守るものが少なくなり、社会的地位は下がり、経済的にも文化的にも困難になることを意味します。ナオミは、一人で自分の故郷に帰ることを決意します。けれども義理の娘の1人ルツは彼女と別れることを拒み、ナオミの故郷に移民として同行します。彼女たちは2人で、衣食にも事欠くほど貧しく、土地のない物乞いとして、家父長制社会の中で、予測のつかない未来に向き合います。ナオミの仲介で、ルツは地主ボアズと結婚し、息子を産んで、自分と義母ナオミの将来を守るのです。ルツとナオミの人生は、複雑で向き合うのが困難な経験によって刈り込まれました。しかし彼女たちは、互いの連帯と支え合いから生まれたしなやかさによって、より強くなってその経験から立ち直ったのです。

## 思いを深めるための設問 ～話し合ってみましょう～

導入で述べられた「剪定」の本質に照らして、以下の質問に答えてください。

1. どんな人生の経験が、移民で土地なしで極貧の未亡人であったナオミとルツの人生を「剪定」しましたか？
2. ナオミ・ルツ・オルバを無力で貧しく困窮させた、ベツレヘム（ナオミの故郷）とモアブの社会構造や制度はどのようなものだったでしょう？
3. 今述べられたような社会制度に対処する際に、ルツとナオミの強い結びつきは、世代を超えた連帯を物語っています。これらの社会制度には、不平等や文化的な規範、とりわけ夫を失った女性への搾取や、若い女性の脆弱性が含まれます。女性たちが豊かに成長するために、今日の私たちの社会から「切り捨て」「剪定」されるべきものはなんでしょうか？異なる世代の人々は、このことのためにどうやって共に働くことができるでしょう？
4. この物語の中の女性たちは、自分たちが豊かになる余地を作るため、どのような考え方や行動を「剪定」したり手放したりする必要があったでしょう？

### 思いを深めるためのワーク

#### 個々人での作業：

自分自身のコミュニティにおける、高齢者、若者、その他の周縁化された人々の立場について、以下の表を用いて社会分析をしてみましょう。

	脆弱性と 直面している困難	周縁化や脆弱性に追いやる、 社会的・文化的・宗教的要素
あなたのコミュニティの 高齢者 (特に配偶者を失った方)		
あなたのコミュニティの 若者		
あなたのコミュニティの その他の人々		

#### グループ作業：

物語を語ることを通して、連帯を形成する

若者、高齢の女性／男性、その他周縁化されたグループの人たちを招いて、体験を語る（午後の）集いを催します。参加者には、以下のワークを通して、各自の物語を聞き合い、自分たちの周縁化や脆弱性を引き起こしている社会的文化的構造を特定するよう導きます。

以下のような質問を使うと良いでしょう。

1. 自分がよそ者だと感じるのは、どんなときでしたか？ それは、あなたのコミュニティの社会的文化的構造とどのように関わっていますか？
2. 今までに、女性として、または他の周縁化されたグループに属する人として、困難を体験したのはどんなときですか？
3. あなたにとって意味のある、世代を超えた人間関係について語ってください。  
その関係性が与えてくれる賜物は何ですか？  
その相手の人が直面している特別な問題は何ですか？
4. あなたのコミュニティでは、若い人・高齢の人にとって特に困難なことは何ですか？  
あなたのこれまでの人生に、そのことはどのように影響してきましたか？

最後に、「剪定」のワークをして、周縁化を推し進めるこのような物語を刈り込んでいく道筋を見つけることにします。彼女たちを解放し、権利や尊厳を約束するような確かな動きが起こることを願って。参加者に、次のような手順で考え巡らせるよう、求めます。

1. 私たちの物語の登場人物 誰もの人生が豊かになるようにするには、あなたのコミュニティの中で、どのような考え方や行動を改めれば良いでしょうか。それらの考え方や行動が「剪定」されたなら、どんな新しい成長が可能になるでしょう？
2. あなた個人としては、どのような誤った考え方や文化的・社会的規範をなくす、あるいは、成長のために刈り込むことが必要と思いますか。
3. 女性を制限するこのような物語を刈り込んでいくにあたって、この聖書の物語の女性たちは、どのようにあなたの心を奮い立たせますか？ あなたはこの物語において、どんな安心や確信を、神から聞き取りますか？
4. あなた自身の人生を制限する物語を「剪定」していくには、次のどんな一歩が助けになるでしょう？
5. あなたのコミュニティが同様に「剪定」するには、どんな次の一歩が助けになりますか？

## 祈り

フランシスコ会の祝福の祈り

安易な答えや中途半端な真実、  
表面的な人間関係にあって、  
不安を抱えているあなたを、  
神が祝福して下さいますように。  
それによってあなたは、  
心の奥深くで生きる事ができるでしょう。  
不正義、抑圧、人々の搾取にあって、  
怒りを抱えているあなたを、  
神が祝福して下さいますように。  
それによってあなたは、  
正義、自由、平和のために働くことができるでしょう。  
痛み、拒絶、飢え、戦争に苦しむ人のために涙を流すあなたを、  
神が祝福して下さいますように。  
それによってあなたの手がその人たちに届いて慰め、  
その痛みを喜びに変えることができるでしょう。  
世界を変えられると信じるに足る愚かさをもつあなたを、  
神が祝福して下さいますように。  
それによってあなたは、  
他の人ができっこないということをすることができます。  
それは、私たちのすべての子どもたちや貧しい人たちに、  
公正とやさしさをもたらすことです。



## — 第6日 愛とやさしさをもって、 一致の果実を収穫する

▽シナラ・ドゥーベ・カーン

トリニダードトバゴ長老教会牧師

▽ジョイ・エヴァ・ボホール

合同メソジスト救援委員会 ヨーロッパ地域移民担当専門職

### 聖書

ヨハネによる福音書15:1-4、9-17

イエスはまことのぶどうの木

<sup>1</sup>「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。<sup>2</sup>わたしにつながっているが、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。<sup>3</sup>わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。<sup>4</sup>わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。

<sup>9</sup>父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。<sup>10</sup>わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。<sup>11</sup>これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。

<sup>12</sup>わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。<sup>13</sup>友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。<sup>14</sup>わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。<sup>15</sup>もはや、わたしはあなたがたを僕(しもべ)とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。<sup>16</sup>あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。<sup>17</sup>互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

## 導入

トリニダードトバゴには、収穫のしかたの伝統的な指針があります。木の実や木の一部が必要なのに、夕方の6時を過ぎている、あるいは日没後だった場合、まずはその植物を起こして目を覚まさせ、取ることへの理解を得るのです。

この聖書箇所を考察すると、この習慣が、その植物を通して私たちの必要を満たしてくださる神への愛・感謝・敬意の心から出ているように思われます。私たちが優しく注意深くその実りを贈り物として収穫するとき、それは被造物への思いやりの行為となります。

ヨハネによる福音書15章1-4節、9-17節におけるイエスと弟子たちとの関係性の経験から、師弟間の育て育てられる関係の中で一致の果実を収穫することは、日が暮れた後に木から果物を収穫するようなものであり、それは愛とやさしさをもって行われなければならない、と私たちは気づくのです。

## 文脈から聖書を読む

私たちの読んだヨハネ福音書の箇所では、イエスは、神が農夫でキリストがぶどうの木、弟子たちは実を結ぶ枝であるという図を示しました。このイメージは、弟子たちがイエスを通して神と共有する聖なる結びつきを表します。イエスは、この対話を弟子たちと交わしたとき、弟子たちに来るべき世界への準備をさせていました。イエスご自身はこれまでと同じように肉体をもって共に歩いたり話したりすることはできなくなるからです。これは、イエスと弟子たちとの育ち育てられる関係が変わろうとしていることの最初のしるしです。

心理学では、メンタリング（人を個別対応で育てる関係性）の最終段階は、メンターとメンティー（育てる側と育てられる側）の関係性を再定義することです。メンターが、持てる知識をメンティーに伝え終えるとその関係は終了し、新たな関係が再定義されるのです。これは、イエスと弟子たちにも起こっているようです。イエスは「もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない…わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。」と言います。ですから、イエスと弟子たちが、全てが変わろうとしているこのメンタリングの最終段階に入るとき、イエスは注目する必要がある2つの重要な教訓を与えてくださるのです。

まず、イエスは私たちに、メンターとしてメンティーを愛さなければならないことを教えます。イエスは彼の弟子たちを愛されました。彼らとの関係性は間もなく変わってしまうわけですが、イエスは、ご自分がなされたように弟子たちがお互いに愛し合うなら、彼らはずっとイエスに繋がっていると約束しました。イエスは彼らを愛することによって、彼らの愛の賜物を収穫したのです。同様に、私たちが育てようとしているメンティーたちとの関係性が変化し、彼らが世界に出て行って良い実を結ぶときが来ることでしょう。しかしながら、私たちの愛の実例は彼らの中に残り、彼らが他者を愛することができるように力づけます。なので、あなたがメンティーと共に働くときには、愛を導き手にして彼らが自分の可能性を解き放つのを助けてください。

2つめに、イエスはメンティーにどうやって剪定を施すかを教えます。この聖書箇所では、農夫である神がある枝が実を結ぶと気づいたとき、収穫を増やす唯一の方法は、枝を剪定することです。剪定なしには、その枝は決してその最大の可能性には到達しないのです。私たちが枝を剪定するとき、枝の一部は失われます。しかし、私たちは、農夫には技術があって思慮深く剪定するので、その植物に害がないということを信じなければなりません。逆に、その植物が失うものは、結果として成長したときの収穫増として得られるのです。

育てる側にあるメンターは、メンティーが自分たちの賜物を収穫できるように、どのように剪定を施すかが肝要です。メンティーに剪定を行うことは、自分の成長を妨げるような態度や行動を手放すことを助けるプロセスです。しかし、私たちが何かを修正してあげたいと思うとき、やさしさが私たちの指針でなければなりません。暴力と訓練を混同しがちな世界にあって、剪定するときには、それが害をもたらすことがないよう、思慮深くあるべきです。この聖書考察の作成にも寄与してくれたうちの1人にとって、自身のリーダーシップ形成に大きな役割を果たした経験は、フィリピ

ン合同メソジスト青年会<sup>※3</sup>への関りでした。UMYFPのリーダーシップのあり方には、ある不文律があって、世代から世代へと引き継がれています。共有されている展望・目標・使命について、ひとつのチームから次のチームに確実に継承されるよう、あらゆる段階の役員選挙は、リーダーシップの初期段階であるユースの中でも異なる年齢層で構成されることになっています。第一線のリーダーたちと、その後ろで支えるリーダーたちです。例えば、選挙で選ばれる役員10人のうち3人は14-17才、他の3人は18-20才、そして4人は21-23才というように。このことで、意図的なメンタリング的人材養成の余地が生まれ、組織としての知見・実践・記憶の継続性における一致が反映され得るのです。このリーダーシップ養成の伝統は今も続いています。それにより、若い人も他の世代もお互いから学ぶことができ、共に成長することができます。そして、教会や社会において、自信をもってリーダーシップをとることができるのです。それは、私たちが神から与えられている賜物や能力を認めて、さまざまなレベルでリーダーシップをとることに備え、仕えるためのセーフスペースでした。

メンター制やリーダーシップ開発は、継続的なプロセスであり、関係性の更新を伴います。詩編84編5-8節には、こう書かれています。

<sup>5</sup>いかに幸いなことでしょう

あなたの家に住むことができるなら  
まして、あなたを賛美することができるなら。

<sup>6</sup>いかに幸いなことでしょう

あなたによって勇気を出し  
心に広い道を見ている人は。

<sup>7</sup>嘆きの谷を通るときも、そこを泉とするでしょう。

雨も雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう。

<sup>8</sup>彼らはいよいよ力を増して進み

ついに、シオンで神にまみえるでしょう。

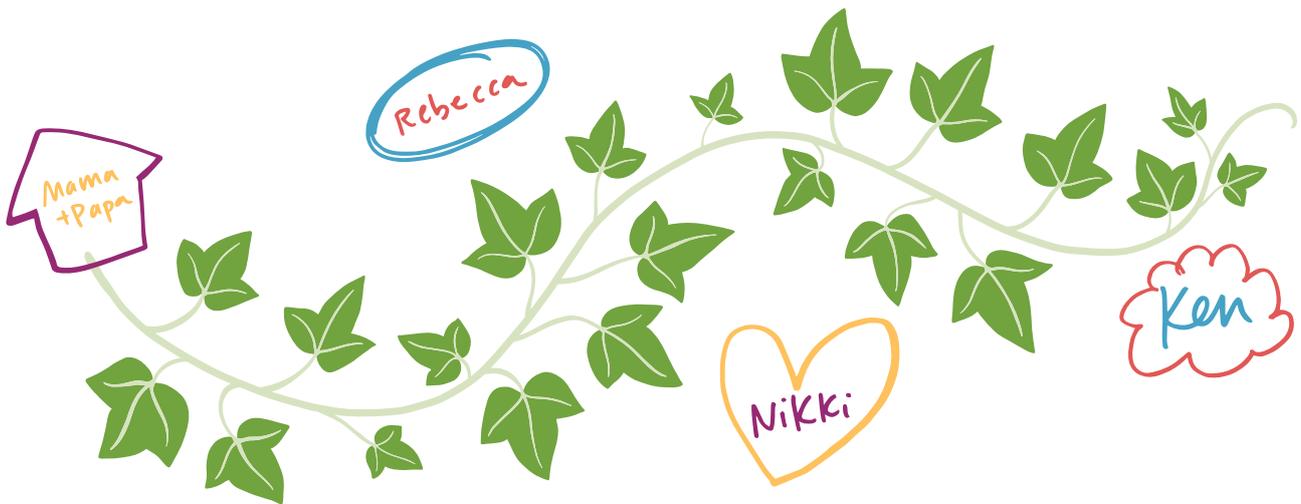
## 思いを深めるためのワーク

あなたのリーダーシップの“旅”を地図にして色を塗り、祈る。このワークには、グラフィックデザインか視覚的材料が必要です。サンプルは以下。

- ・青年としての、あるいはユースワーカーとしてのあなたのリーダーシップの旅は、どのようにして始まりましたか？
- ・誰が、あなたが学んで成長するようにあなたの心を奮起させ、また活動の場を与えましたか？ また、あなた自身が学びを導いたり成長を促す側に立つように、働きかけてくれましたか？
- ・リーダーとしての今のあなたを形作ってくれたリーダーシップの形の遺産を、どのようにして継承しますか？

※3：フィリピン合同メソジスト青年会 (UMYFP) は、合同メソジスト教会 (UMC) の世界的な結びつきの中で、最もよく組織された青年部門です。UMYFPは、12才から23才までの若い人によって、若い人と共に、若い人のために指揮されていて、独自の会則・附則をもっており、それは教会の組織の中で尊重されています。UMYFPは、フィリピンエプワース同盟として始まった1901年の設立以来、教派内で、またその枠を超えて、世代を超えた目覚ましい教会リーダーを輩出してきた。今も、世界的なエキュメニカル運動 (教派を超えたキリスト教の運動) や国際機関において、様々な立場でリーダーシップを発揮し続けている。

これらの質問について考え始めるにあたって、あなたのリーダーシップの旅を表すぶどうの木を描いてください。メンターとメンティーの両方についてです。あなたの旅の中での道しるべを見つけたら、自分にインスピレーションを与えてくれた人の名前を書き、また同時にインスピレーションを与えたい人の名前も書きます。あなたの絵にその人たちの名前を加え、一緒にあなたの来し方を思い出します。名前を加えるとき、それぞれの人を表す色と形でその名前を囲みます。落書きして考えながら、この空間を、その人たちへの感謝と祈りの場として用いてください。



### 祝福の祈り

私たちのメンターであり、導き手、友、仲間、羊飼いである神さま。

私たちが精一杯努力して、謙虚さと人に仕えることの模範となられたイエスのように、生きることができますように。

神よ、私たちのメンターやメンティーを通して、あなたの存在を感じることができますように。

私たちがあなたの叡智と聖霊とを、お互いを高め合う中で映し出すことができますように。

私たちが「剪定」するとき、優しく、親切で、思いやりをもち、愛に動かされて行動するよう努めることができますように。

イエスが示されたように、私たちの目と心を真実で正しいことに留めることができますように。

私たちに与えられている賜物が、私たちの一致を育み強めるような素晴らしい収穫を増すことができますように。

アーメン

## — 世界YWCA/YMCA合同祈禱週2023

# 礼拝式文

種から花へ：手を取り合って、希望と愛を育てましょう

▽ミッキー・ロバーツ

世界教会協議会 霊的生活と信仰と秩序に関するプログラム責任者

▽ウィンネル・カートナーロバーツ

ジュネーブモラヴィア兄弟団牧師

差支えなければお立ちください。

L (司式者)： 私たちは、正義と平和の種を、私たちの日常生活に播くよう、呼び掛けられています。

C (会 衆)： 私たちは、それらの種がいのちの木に成長できるよう、世話をし育てるように呼び掛けられています。

L： いのちの木は、不公正、抑圧、紛争、災害などによって苦しんでいる神の被造物を癒します。

C： いのちの木は、すべての被造物に逃れの場所と日陰を提供します。

L： 私たちは、利己的な野心を持たず、思いやりをもって仕える人の心で、正義の種を播いて育てることを求められています。

C： 私たちは多様な宗教・文化・人種・国々の中に、正義と平和の庭を作ることを求められています。

開会の歌：水辺の木のように

## Que esta iglesia sea un árbol

Pablo Sosa, Argentina

F Gm7 C7 F

1. Que es - ta i - gle - sia se - a un ár - bol en el fon - do de tu ca - sa,  
 1. May this church be like a tree, be - hind your house, there in your gar - den,

F Gm7 C7 F

que ha - ya fies - ta ya - le - grí - a y o - ra - ción ba - jo sus ra - mas.  
 meet - ing place for joy, and feast, and sim - ple prayer be - neath its branch - es.

D/F# Gm C7 F

Con ra - í - ces bien pro - fun - das, y sus bra - zos ha - cia el cie - lo,  
 With its roots in earth so fer - tile, and its arms raised high to hea - ven,

G/B F/C C7 F

que es - ta i - gle - sia sea fe - cun - da dan - do fru - tos de con - sue - lo  
 may this church bear fruits of jus - tice, acts of lov - ing and com - pas - sion.

Bb Gm F/A F C7 Dm7 C/E F Bb Gm

"Ár - bol plan - ta - do jun - to a las a - guas de vi - da e  
 Tree ev - er grow - ing by liv - ing wa - ter, run - ning e -

F/A D/F# C/G F/A G7/B C7 F/A Gm/Bb F

ter - na de nues - tro Dios."                      nues - tro Dios."  
 ter - nal, flow - ing from God.                      ing - from God.

In Australia, Canada, N.Zealand UK and USA  
 Spanish Words and Music © 2011 by GIA Publications, Inc. All Rights Reserved  
 In all other countries Spanish Words and Music © 2011 Pablo Sosa  
 English translation Copyright © 2013 Andrew Donaldson

## 開会の祈り（マルコによる福音書4章26-34から着想を得て）

- L: 小さな種と力強い木の神よ。  
 あなたは、私たちのささやかな命を手に取り、  
 この世界で、あなたのために愛に満ちたやさしさの行動を起こすことができるよう、  
 愛をもって働いてくださいます。  
 あなたは私たちの叫びを聞き、  
 私たちが道に迷って恐れ惑っているときに私たちを見つけてくださいます。  
 あなたは私たちを家に連れ帰り、あなたのやさしさを喜ぶ全きものとしてくださいます。  
 あなたがいつも私たちに上から目を注いでくださることを知って、  
 私たちのすべての日々、喜んであなたに仕えることができるよう助けてください。  
 私たちの心があなたの言葉を受け取め、  
 私たちの魂があなたに仕える熱意をもって応答できるよう、備えを与えてください。  
 イエスの名によって祈ります。
- C: アーメン

どうぞお座りください。

## 応答詩編126

- L: 主がシオンの捕われ人を連れ帰ってその運命を回復されたとき、わたしたちは夢を見ている人のようになった。
- C: そのときには、わたしたちの口に笑いが舌に喜びの歌が満ちあふれた。
- L: そのときには、国々も言った。「主はこの人々に、大きな業（わざ）を成し遂げられた」と。
- C: 主は、わたしたちのために大きな業を成し遂げてくださり、わたしたちは喜び祝いました。
- L: 主よ、私たちの運命を回復させてください、ネゲブの川の流れのように。
- C: 涙と共に種を蒔く人が喜びの歌と共に刈り入れますように。
- L: 種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は
- C: 束ねた穂を背負い 喜びの歌をうたいながら帰ってきますように。
- L: 栄光は父なる神、子なるキリスト、そして聖霊にありますように。
- C: 最初にそうであったように。今も後も、終わりのない世界に。  
 アーメン

## 祈り

- L: 私たちがお互いのうちに属し合うという関係性の源である神よ。  
 私たちは誰も、まずあなたに属さないことには、兄弟姉妹に何一つ与えることは出来ません。  
 聖霊が私たちを作り替えて、自由であなたの愛で結ばれた新しい人としてくださるよう、  
 完全なる一致の中であなたの聖霊を注いでください。  
 神であり、聖霊との三位一体において今も生き、  
 永遠に世界を統治されるあなたの御子イエスキリストを通して、祈ります。
- C: アーメン

(1993年のキリスト教一致祈禱週間でのコンゴ民主共和国に関するカトリック教会新ローマ典礼文書より)

どうぞお立ちください。

ハレ ハレ ハレルーヤ

Caribbean

Hal - le, Hal - le, Hal - le - lu - ia.

Hal - le, Hal - le, Hal - le - lu - ia.

Hal - le, Hal - le, Hal - le - lu - ia. Hal - le -

lu - ia, Hal - le - lu - ia.

福音書朗読 マルコによる福音書4章1-9節、30-32節

<sup>1</sup> イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。おびただしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。<sup>2</sup> イエスはたとえでいろいろと教えられ、その中で次のように言われた。<sup>3</sup> 「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。<sup>4</sup> 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。<sup>5</sup> ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。<sup>6</sup> しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。<sup>7</sup> ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。<sup>8</sup> また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」<sup>9</sup> そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

<sup>30</sup> 更に、イエスは言われた。「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。<sup>31</sup> それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、<sup>32</sup> 蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」

L: これは主の言葉

C: 神に感謝

感話

次のナレーションは、感話の代わりに用いたり、その後に行ったりすることができます。

一粒の麦は

Toyohiko Kagawa 賀川豊彦 歌詞

Ushio Takahashi: Japan



ひ - と - つ - ぶ の む - ぎ は 落 -



ち - け - り 地 - の う - え に



ま - た は 生 - え - - い - ず - る



は - る を 待 - ち - つ - つ



ま - た は 生 - え - - い - ず - る



は - る を 待 - ち - つ - つ

Music © Ushio Takahashi. Japanese, Toyohiko Kagawa © 1981 Sumimoto Kagawa, Kagawa Foundation, 3-8-19 Kamkitzawa, Setagaya, Tokyo, Japan  
 Used by permission. English © 1983 Frank Y. Ohtomo, Koenigsteiner Straße 48, 65812 Bad Soden/TS, Germany.  
 Français: Christian de Ferry © 1998 WCC 150, Route de Ferney, 1211 Geneva, Switzerland.

ナレーター： これはイエスの語られた物語です。  
種まく人が、種を播きに出かけました。

A: 最初の種は私のところに落ちました。私は小道です。  
私は簡単に踏みつけられる存在で、  
人々はいつも私の上を通り過ぎていきます。  
私には、自分自身のアイデンティティがありません。  
だから、何が私のところに落ちて来ても、  
パンくずを奪い合う鳥のように、  
他の人が拾ってしまうのです。  
私は何も手にできず、空っぽのままです。  
私は、人々が踏みつけて行く存在なのです。

(沈黙)

### 一粒の麦は落ちけり

ナレーター： これはイエスの語られた物語です。  
種まく人が、種を播きに出かけました。

B: 2番目の種は、私の上に落ちてきました。私は石の庭。  
見た目は魅力的ですが、浅いです。  
人々はいつも私を称賛します。  
あなたはなんて素敵なんだ!と彼らは言い、  
私も見た目の良さを気に入っています。  
あなたはなんと斬新な考えをもっているんだ!と彼らは言い、  
私も斬新な考えを持つことが好きです。  
問題は、それらが常に斬新で、常に新しいことです。  
今日ここにあって、明日は枯れる。  
根がなくて、深みもない。  
浅い意味では称賛されるのですが。

(沈黙)

### When a Grain of Wheat (一粒の麦が)

Bernadette Farrell: England

♩ = 144

Un - less a grain of wheat shall fall up - on the ground and die,  
ひとつぶのむぎが死ななかつたら

it re - mains but a sin - gle grain with no life.  
ひとつぶのままにとどまる

和訳：雀部真理 (YWCA会員)

ナレーター： これはイエスの語られた物語です。  
種まく人が、種を播きに出かけました。

C： 3番目の種は、私の上に落ちてきました。  
私は、草の生い茂る荒地です。  
私は、「〇〇主義」に満ちています。  
商業主義に物質主義、  
消費主義、産業主義、  
資本主義、共産主義。  
私は理論でいっぱいです。  
不毛な人生で、  
実在するもののすべてを窒息させるのです。  
私は荒地、  
「主義」でいっぱい。  
どれも役に立ちません。

#### 一粒の麦は落ちけり

ナレーター： これはイエスの語られた物語です。  
種まく人が、種を播きに出かけました。

D： そして私たちは、肥沃な土地です。  
種まく人は、私たちに多くを与え、  
私たちから多くを得ることを期待します。

(沈黙)

ナレーター： そして、よい土地に種が落ち、  
植物を育てました。  
植物は熟して、  
30倍、60倍、100倍の穀物を生み出しました。  
そしてイエスは言われました。  
「聞く耳のある者は聞きなさい」と。  
過去を否認したり、  
未来のことを忘れてたり、  
現在について他者のものをむやみに欲しがることがないように、  
イエスはこうも言われました。  
「他の人のまいた種からあなたが刈り入れ、  
あなたの播いた種からの収穫を他の人が刈り入れるだろう」  
そして、そのようにして神の国は来るのです。  
神の播かれた種が、  
神を信じる人々の協力で収穫されるのです。

## 一粒の麦は落ちけり

### 人々の祈り

#### 祈りましょう

L： 無知、利己主義、貪欲、権力への愛が、地域社会での生活を砕いてしまった場所で、

C： 神よ、自分を与えるあなたの愛の種を播くことができるよう、  
私たちが力づけてください。

L： 不正義や抑圧が諸民族の心を壊してしまった場所で、

C： 神よ、人々を解放するあなたの正義の種を播くことができるよう、  
私たちが力づけてください。

L： 飢えや貧しさ、病気や死が、人生を担いきれない重荷としてしまっている場所で、

C： 神よ、あなたの深い哀れみの種を播くことができるよう、  
私たちが力づけてください。

L： 疑いや憎しみ、争いや戦争が、あなたの善良さに敵対してきた場所で、

C： 神よ、あなたの平和の種を播くことができるよう、  
私たちが力づけてください。

L： 個人的な利益や様々な隔ての壁が私たちの社会を分断してしまった場所で、

C： 神よ、あなたの愛の共同体の種を播くことができるよう、  
私たちが力づけてください。

L： あらゆる知恵の源、変革の力である永遠なる神よ、  
私たちが疑いと絶望を感じている時、  
あなたの霊を私たちのうちにかき立てて、希望を与えてください。  
私たちのうちに、あなたの愛の種を播いてください。  
そうして私たちが、キリストにあって死に、  
キリストの復活の栄光に与ることを学べますように。

C： アーメン

(お立ちください)

### 主の祈り（それぞれの言語で）

Si tuvieras fe 信じる心があるなら

Si tu - vie - ras fe co - mo un gra - ni - to de mos -  
 If we on - ly had faith, just like a lit - tle grain of

ta - za; e - so lo di - ce El Se - ñor. Si tu - vie - ras  
 mus - tard; this is what Je - sus has said. If we on - ly had

ñor: Tú le di - rí - as a e - sa mon - ta - ña: ¡mué - ve -  
 said. We would be a - ble to tell that moun - tain: Move a -

te, mué - ve - tel; tú le di - rí - as a e - sa mon -  
 way! Move a - way! We would be a - ble to tell that

ta - ña: ¡mué - ve - te, mué - ve - tel Y la mon - ta - ña  
 moun - tain Move a - way! Move a - way and then the moun - tain

se mo - ve - rá, se mo - ve - rá, se mo - ve - rá. Y la mon - ta -  
 would move a - way, would move a - way, would move a - way and then the moun -

ña se mo - ve - rá. Y la mon - ta - ña se mo - ve -  
 tain would move a - way and then the moun - tain would move a -

rá, se mo - ve - rá, se mo - ve - rá.  
 way, would move a - way, would move a - way.

作詞・作曲不明 マタイ17章20節に基づくラテンアメリカの讃美歌

祈り

- L: 朽ちるべきものとして地に播かれたものが、朽ちないものとして育ちます。  
蒔かれるときは卑しいものでも、輝かしいものに成長し、  
蒔かれるときには弱いものでも、力強いものに成長し、  
自然の体の種が蒔かれて、霊の体が立ち上がるのです。  
(コリント信徒への手紙第1 14章42-44a)  
神の祝福を受けて、私たちの旅を続けましょう。
- L: 私たちを自由自在に愛される愛の神が  
C: **他者を愛する私たちの愛を強めてくださるように。**  
L: ご自分の命を私たちに与えてくださったイエスキリストが  
C: **私たちに他者に命を捧げる恵みを与えてくださるように。**  
L: 私たちのうちに住まわれる聖霊が、  
C: **他者のために生きる事ができるよう、私たちに力を与えてくださるように。**  
全員: アーメン



## — 世界YWCA/YMCA合同祈禱週2023

### 謝辞

2023年祈禱週テキストの作成を支え、力を注いでくださった傑出した貢献者と献身的なチームメンバーを覚え、ここに感謝を捧げます。皆さんの揺るぎない献身、たゆまぬ努力、協力の精神は、世界中のコミュニティに向けてこの小冊子を作成する上で非常に貴重であり、またこれはこの週が終わった後にも活用されるでしょう。

- Rev. Rebecca Sangeetha Daniel (Lead Editor of this year's booklet, Pastor at the Lutheran Church in Great Britain, and International University Student Chaplain)
- Rev. Anne Heikkinen (Doctoral Researcher in Theology and Religious Studies (University of Helsinki), Evangelical Lutheran Church of Finland)
- Dr Muriel Orevillo Montenegro, Ph.D., (Coordinator, Interfaith Cooperation Forum, Asia and Pacific Alliance of YMCAs)
- Ester N Sakaria (Oniipa Infohut Facilitator and Lutheran Communion in Southern Africa (LUCSA) Women Representative)
- Rev. Nicqi Ashwood (Program Executive for the Just Community of Women and Men, World Council of Churches)
- Rev. Dr Elaine Neuenfeldt, Ph.D., (Act Alliance Gender Program Manager)
- Rev. Karla Steilmann Franco (Pastor of the Evangelical Church of the River plate - Paraguay)
- Rev. Dr Viji Varghese Eapen, Ph.D., (Presbyter, Church of South India - Diocese of Madhya Kerala)
- Dr. Nontando Hadebe, Ph.D., (International Coordinator Side by Side/Gender Consultant Bread for the World)
- Savanna Sullivan, M.A. in Theology (Program Executive for Youth, Lutheran World Federation)
- Joy Eva Bohol (Regional Migration Specialist for Europe, United Methodist Committee on Relief/UMCOR; global missionary of the United Methodist Church)
- Rev. Cynara Dubé-Khan (Minister at the Presbyterian Church of Trinidad and Tobago)
- Rev. Dr Winelle Kirton-Roberts, Ph.D., (Moravian Church Pastor in French-speaking Switzerland)
- Rev. Dr Mikie Roberts, Ph.D., (Program Executive for Spiritual Life and Faith and Order, World Council of Churches)
- Daniela Zelaya Raudales (Project Specialist, World YWCA)
- Duncan Chowdhury (Governance Manager, World YMCA)
- Bonnie Gretzner (Content and Digital Communications Manager, World YMCA)
- John Phillips (Director of Communications, World YMCA)
- Rev. Dori Gorman (Chaplain, YMCA of Middle Tennessee, USA)
- Bible Reading Plan: Ecumenical Working Group für Bible Reading (Ökumenische Arbeitsgemeinschaft für Bibellesen), Caroline-Michaelis-Str. 1, 10115 Berlin.
- Spanish Translation by Manuel Quintero
- French Translation by Jean-François Delteil
- Design by Alisa Wismer
- Funded by Norwegian Church Aid (NCA)

Biblical references from New Revised Standard Version Updated Edition - NRSVUE

Disclaimer: The views expressed in the booklet by the various contributors do not necessarily reflect the position of the World YWCA or the World YMCA. The illustrations included in this booklet must be only used for World YWCA – World YMCA Week of Prayer purposes.

# 聖書日課

2023 - 2024

2023年12月

1	(金)	イザヤ 40:1-11
2	(土)	イザヤ 40:12-31
3	(日)	詩編 117
4	(月)	イザヤ 41:8-20
5	(火)	イザヤ 42:1-9
6	(水)	イザヤ 43:1-7
7	(木)	イザヤ 43:8-13
8	(金)	イザヤ 43:14-28
9	(土)	イザヤ 44:1-5
10	(日)	詩編 80
11	(月)	イザヤ 44:6-20
12	(火)	イザヤ 44:21-28
13	(水)	イザヤ 45:1-8
14	(木)	イザヤ 45:9-17
15	(金)	イザヤ 45:18-25
16	(土)	イザヤ 46:1-13
17	(日)	詩編 85
18	(月)	イザヤ 49,1-6
19	(火)	イザヤ 49,7-17
20	(水)	イザヤ 50,4-11
21	(木)	イザヤ 51,1-8
22	(金)	イザヤ 51,9-16
23	(土)	イザヤ 52,1-12
24	(日)	詩編 115
25	(月)	ルカ 1:46-55
26	(火)	ルカ 2:29-32
27	(水)	イザヤ 52,13-53,5
28	(木)	イザヤ 53,6-12
29	(金)	イザヤ 54,1-10
30	(土)	イザヤ 55,1-5
31	(日)	イザヤ 55,6-13

## 聖書日課

2023 - 2024

## 2024年1月

1	(月)	詩編 89:1-19
2	(火)	マルコ 1:1-8
3	(水)	マルコ 1:9-13
4	(木)	マルコ 1:14-20
5	(金)	マルコ 1:21-28
6	(土)	マルコ 1:29-39
7	(日)	詩編 89:20-53
8	(月)	マルコ 1:40-45
9	(火)	マルコ 2:1-12
10	(水)	マルコ 2:13-17
11	(木)	マルコ 2:18-22
12	(金)	マルコ 2:23-28
13	(土)	マルコ 3:1-6
14	(日)	詩編 148
15	(月)	1テモテ 1:1-11
16	(火)	1テモテ 1:12-20
17	(水)	1テモテ 2:1-7
18	(木)	1テモテ 2:8-15
19	(金)	1テモテ 3:1-13
20	(土)	1テモテ 3:14-16
21	(日)	詩編 86
22	(月)	1テモテ 4:1-11
23	(火)	1テモテ 4:12-5:2
24	(水)	1テモテ 5:3-16
25	(木)	1テモテ 5:17-25
26	(金)	1テモテ 6:1-10
27	(土)	1テモテ 6:11-21
28	(日)	詩編 135
29	(月)	2テモテ 1:1-12
30	(火)	2テモテ 1:13-18
31	(水)	2テモテ 2:1-13

## 2月

1	(木)	2テモテ 2:14-21
2	(金)	2テモテ 2:22-26
3	(土)	2テモテ 3:1-9
4	(日)	詩編 128
5	(月)	2テモテ 3:10-17
6	(火)	2テモテ 4:1-8
7	(水)	2テモテ 4:9-22
8	(木)	テトス 1:1-9
9	(金)	テトス 1:10-16
10	(土)	テトス 2:1-10
11	(日)	詩編 31
12	(月)	テトス 2:11-15
13	(火)	テトス 3:1-7
14	(水)	テトス 3:8-15
15	(木)	フィレモン 1-25
16	(金)	出エジプト 1:1-22
17	(土)	出エジプト 2:1-10
18	(日)	詩編 91
19	(月)	出エジプト 2:11-25
20	(火)	出エジプト 3:1-22
21	(水)	出エジプト 4:1-17
22	(木)	出エジプト 4:18-31
23	(金)	出エジプト 5:1-6:1
24	(土)	出エジプト 7:1-13
25	(日)	詩編 123
26	(月)	出エジプト 7:14-25
27	(火)	出エジプト 11:1-10
28	(水)	出エジプト 12:1-20
29	(木)	出エジプト 12:21-33.51

## 聖書日課

2023 - 2024

## 3月

1	(金)	マルコ 10:32-45
2	(土)	マルコ 10:46-52
3	(日)	詩編 141
4	(月)	マルコ 11:1-11
5	(火)	マルコ 11:12-25
6	(水)	マルコ 11:27-33
7	(木)	マルコ 12:1-12
8	(金)	マルコ 12:13-17
9	(土)	マルコ 12:18-27
10	(日)	詩編 132
11	(月)	マルコ 12:28-34
12	(火)	マルコ 12:35-40
13	(水)	マルコ 12:41-44
14	(木)	マルコ 13:1-13
15	(金)	マルコ 13:14-23
16	(土)	マルコ 13:24-37
17	(日)	詩編 130
18	(月)	マルコ 14:1-11
19	(火)	マルコ 14:12-16
20	(水)	マルコ 14:17-26
21	(木)	マルコ 14:27-31
22	(金)	マルコ 14:32-42
23	(土)	マルコ 14:43-52
24	(日)	詩編 88
25	(月)	マルコ 14:53-65
26	(火)	マルコ 14:66-72
27	(水)	マルコ 15:1-15
28	(木)	マルコ 15:16-23
29	(金)	マルコ 15:24-41
30	(土)	マルコ 15:42-47
31	(日)	マルコ 16:1-8

## 4月

1	(月)	マルコ 16:9-20
2	(火)	1ペトロ 1:1-12
3	(水)	1ペトロ 1:13-16
4	(木)	1ペトロ 1:17-21
5	(金)	1ペトロ 1:22-2:3
6	(土)	1ペトロ 2:4-10
7	(日)	詩編 134
8	(月)	1ペトロ 2:11-17
9	(火)	1ペトロ 2:18-25
10	(水)	1ペトロ 3:1-7
11	(木)	1ペトロ 3:8-12
12	(金)	1ペトロ 3:13-17
13	(土)	1ペトロ 3:18-22
14	(日)	詩編 136
15	(月)	1ペトロ 4:1-11
16	(火)	1ペトロ 4:12-19
17	(水)	1ペトロ 5:1-7
18	(木)	1ペトロ 5:8-14
19	(金)	1コリント 1:1-9
20	(土)	1コリント 1:10-17
21	(日)	詩編 96
22	(月)	1コリント 1:18-25
23	(火)	1コリント 1:26-31
24	(水)	1コリント 2:1-5
25	(木)	1コリント 2:6-16
26	(金)	1コリント 3:1-4
27	(土)	1コリント 3:5-8
28	(日)	詩編 149
29	(月)	1コリント 3:9-17
30	(火)	1コリント 3:18-23

## 聖書日課

2023 - 2024

## 5月

1	(水)	1コリント 4:1-5
2	(木)	1コリント 4:6-13
3	(金)	1コリント 4:14-21
4	(土)	1コリント 5:1-8
5	(日)	詩編 129
6	(月)	1コリント 5:9-13
7	(火)	1コリント 6:1-11
8	(水)	1コリント 6:12-20
9	(木)	ピリピ 2:5-11
10	(金)	1コリント 7:1-16
11	(土)	1コリント 7:17-24
12	(日)	詩編 131
13	(月)	1コリント 7:25-40
14	(火)	1コリント 8:1-6
15	(水)	1コリント 8:7-13
16	(木)	1コリント 9:1-18
17	(金)	1コリント 9:19-23
18	(土)	1コリント 9:24-27
19	(日)	エペソ 1:3-14
20	(月)	詩編 150
21	(火)	1コリント 10:1-13
22	(水)	1コリント 10:14-22
23	(木)	1コリント 10:23-11:1
24	(金)	1コリント 11:2-16
25	(土)	1コリント 11:17-26
26	(日)	詩編 68:1-19
27	(月)	1コリント 11:27-34
28	(火)	1コリント 12:1-11
29	(水)	1コリント 12:12-26
30	(木)	1コリント 12:27-31
31	(金)	1コリント 13:1-7

## 6月

1	(土)	1コリント 13:8-13
2	(日)	詩編 133
3	(月)	1コリント 14:1-11
4	(火)	1コリント 14:12-25
5	(水)	1コリント 14:26-33a
6	(木)	1コリント 14:33b-40
7	(金)	1コリント 15:1-11
8	(土)	1コリント 15:12-19
9	(日)	詩編 36
10	(月)	1コリント 15:20-28
11	(火)	1コリント 15:29-34
12	(水)	1コリント 15:35-49
13	(木)	1コリント 15:50-58
14	(金)	1コリント 16:1-12
15	(土)	1コリント 16:13-24
16	(日)	詩編 53
17	(月)	出エジプト 13:17-22
18	(火)	出エジプト 14:1-14
19	(水)	出エジプト 14:15-31
20	(木)	出エジプト 15:1-21
21	(金)	出エジプト 15:22-27
22	(土)	出エジプト 16:1-16
23	(日)	詩編 42
24	(月)	出エジプト 16:17-36
25	(火)	出エジプト 17:1-7
26	(水)	出エジプト 17:8-16
27	(木)	出エジプト 18:1-12
28	(金)	出エジプト 18:13-27
29	(土)	出エジプト 19:1-15
30	(日)	詩編 73

## 聖書日課

2023 - 2024

## 7月

1	(月)	出エジプト 19:16-25
2	(火)	出エジプト 20:1-21
3	(水)	出エジプト 23:1-9
4	(木)	出エジプト 23:10-19
5	(金)	出エジプト 23:20-33
6	(土)	出エジプト 24:1-18
7	(日)	詩編 139
8	(月)	出エジプト 25:1-22
9	(火)	出エジプト 31:18-32:14
10	(水)	出エジプト 32:15-29
11	(木)	出エジプト 32:30-33:6
12	(金)	出エジプト 33:7-11
13	(土)	出エジプト 33:12-23
14	(日)	詩編 119:25-32
15	(月)	出エジプト 34:1-10
16	(火)	出エジプト 34:27-35
17	(水)	出エジプト 35:4-29
18	(木)	出エジプト 35:30-36:7
19	(金)	出エジプト 40:1-17
20	(土)	出エジプト 40:34-38
21	(日)	詩編 119:33-40
22	(月)	マルコ 3:7-12
23	(火)	マルコ 3:13-19
24	(水)	マルコ 3:20-30
25	(木)	マルコ 3:31-35
26	(金)	マルコ 4:1-9
27	(土)	マルコ 4:10-20
28	(日)	詩編 119:41-48
29	(月)	マルコ 4:21-25
30	(火)	マルコ 4:26-29
31	(水)	マルコ 4:30-34

## 8月

1	(木)	マルコ 4:35-41
2	(金)	マルコ 5:1-20
3	(土)	マルコ 5:21-34
4	(日)	詩編 122
5	(月)	マルコ 5:35-43
6	(火)	マルコ 6:1-6
7	(水)	マルコ 6:7-13
8	(木)	マルコ 6:14-29
9	(金)	マルコ 6:30-44
10	(土)	マルコ 6:45-56
11	(日)	詩編 145
12	(月)	マルコ 7:1-23
13	(火)	マルコ 7:24-30
14	(水)	マルコ 7:31-37
15	(木)	マルコ 8:1-9
16	(金)	マルコ 8:10-13
17	(土)	マルコ 8:14-21
18	(日)	詩編 147
19	(月)	マルコ 8:22-26
20	(火)	マルコ 8:27-33
21	(水)	マルコ 8:34-9:1
22	(木)	マルコ 9:2-13
23	(金)	マルコ 9:14-29
24	(土)	マルコ 9:30-37
25	(日)	詩編 120
26	(月)	マルコ 9:38-41
27	(火)	マルコ 9:42-50
28	(水)	マルコ 10:1-12
29	(木)	マルコ 10:13-16
30	(金)	マルコ 10:17-27
31	(土)	マルコ 10:28-31

## 聖書日課

2023 - 2024

## 9月

1	(日)	詩編 146
2	(月)	エレミヤ 1:1-10
3	(火)	エレミヤ 1:11-19
4	(水)	エレミヤ 2:1-13
5	(木)	エレミヤ 3:1-10
6	(金)	エレミヤ 3:21-4:4
7	(土)	エレミヤ 6:9-26
8	(日)	詩編 127
9	(月)	エレミヤ 7:1-15
10	(火)	エレミヤ 7:16-28
11	(水)	エレミヤ 9:22-23
12	(木)	エレミヤ 12:1-6
13	(金)	エレミヤ 13:1-11
14	(土)	エレミヤ 14:1-16
15	(日)	詩編 68:20-36
16	(月)	エレミヤ 15:10-21
17	(火)	エレミヤ 16:1-13
18	(水)	エレミヤ 18:1-12
19	(木)	エレミヤ 19:1-13
20	(金)	エレミヤ 20:7-18
21	(土)	エレミヤ 21:1-14
22	(日)	詩編 138
23	(月)	エレミヤ 23:1-8
24	(火)	エレミヤ 23:16-29
25	(水)	エレミヤ 26:1-19
26	(木)	エレミヤ 28:1-17
27	(金)	エレミヤ 29:1-14
28	(土)	エレミヤ 31:1-14
29	(日)	詩編 142
30	(月)	エレミヤ 23:1-8

## 10月

1	(火)	エレミヤ23:16-29
2	(水)	エレミヤ26:1-19
3	(木)	エレミヤ28:1-17
4	(金)	エレミヤ29:1-14
5	(土)	エレミヤ31:1-14
6	(日)	詩編 65
7	(月)	エレミヤ23:1-8
8	(火)	エレミヤ23:16-29
9	(水)	エレミヤ26:1-19
10	(木)	エレミヤ28:1-17
11	(金)	エレミヤ29:1-14
12	(土)	エレミヤ31:1-14
13	(日)	詩編106:1-23
14	(月)	エレミヤ23:1-8
15	(火)	エレミヤ23:16-29
16	(水)	エレミヤ26:1-19
17	(木)	エレミヤ28:1-17
18	(金)	エレミヤ29:1-14
19	(土)	エレミヤ31:1-14
20	(日)	詩編106:24-48
21	(月)	2コリント1:1-11
22	(火)	2コリント1:12-24
23	(水)	2コリント2:1-11
24	(木)	2コリント2:12-17
25	(金)	2コリント3:1-11
26	(土)	2コリント3:12-18
27	(日)	詩編143
28	(月)	2コリント4:1-6
29	(火)	2コリント4:7-18
30	(水)	2コリント5:1-10
31	(木)	2コリント5:11-15

## 聖書日課

2023 - 2024

## 11月

1	(金)	2コリント 5:16-21
2	(土)	2コリント 6:1-10
3	(日)	詩編 125
4	(月)	2コリント 6:11-7:1
5	(火)	2コリント 7:2-16
6	(水)	2コリント 8:1-15
7	(木)	2コリント 8:16-24
8	(金)	2コリント 9:1-15
9	(土)	2コリント 10:1-11
10	(日)	詩編 90
11	(月)	2コリント 10:12-18
12	(火)	2コリント 11:1-15
13	(水)	2コリント 11:16-33
14	(木)	2コリント 12:1-10
15	(金)	2コリント 12:11-21
16	(土)	2コリント 13:1-13
17	(日)	詩編 51
18	(月)	2ペトロ 1:1-11
19	(火)	2ペトロ 1:12-21
20	(水)	2ペトロ 2:1-11
21	(木)	2ペトロ 2:12-22
22	(金)	2ペトロ 3:1-10
23	(土)	2ペトロ 3:11-18
24	(日)	イザヤ 26:7-19
25	(月)	イザヤ 56:1-8
26	(火)	イザヤ 56:9-12
27	(水)	イザヤ 57:1-13
28	(木)	イザヤ 57:14-21
29	(金)	イザヤ 58:1-9a
30	(土)	イザヤ 58:9b-14

## 12月

1	(日)	詩編 24
2	(月)	イザヤ 59:1-15a
3	(火)	イザヤ 59:15b-21
4	(水)	イザヤ 60:1-14
5	(木)	イザヤ 60:15-22
6	(金)	イザヤ 61:1-11
7	(土)	イザヤ 62:1-12
8	(日)	詩編 144
9	(月)	イザヤ 63:7-14
10	(火)	イザヤ 63:15-64:6
11	(水)	イザヤ 64:7-11
12	(木)	イザヤ 65:1-10
13	(金)	イザヤ 65:17-25
14	(土)	イザヤ 66:1-4
15	(日)	詩編 130
16	(月)	イザヤ 66:5-14
17	(火)	イザヤ 66:15-24
18	(水)	ルカ 1:1-17
19	(木)	ルカ 1:18-25
20	(金)	ルカ 1:26-38
21	(土)	ルカ 1:39-56
22	(日)	詩編 102
23	(月)	ルカ 1:57-66
24	(火)	ルカ 1:67-80
25	(水)	ルカ 2:1-14
26	(木)	ルカ 2:15-20
27	(金)	ルカ 2:21-24
28	(土)	ルカ 2:25-35
29	(日)	詩編 2
30	(月)	ルカ 2:36-40
31	(火)	ルカ 2:41-52

## 世界YWCA / YMCA合同祈祷週（日本語版）

2023年11月1日発行

訳者 公益財団法人 日本YWCA

制作 プロスクリエイティブ

発行 **公益財団法人 日本YMCA同盟**

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号

Tel 03-5367-6640 E-mail: info@japanymca.org

<https://ymcajapan.org/>

**公益財団法人 日本YWCA**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室

Tel 03-3292-6121 E-mail: office-japan@ywca.or.jp

<https://www.ywca.or.jp/>



WorldYWCA

L'Ancienne-Route 16, 1218 Le Grand-Saconnex  
Geneva- Switzerland

[www.worldywca.org](http://www.worldywca.org)

Twitter & Instagram: @worldywca

Facebook: <https://www.facebook.com/worldywca/>



Chemin de Mouille-Galand 1, 1214 Vernier  
Geneva- Switzerland

[www.ymca.int](http://www.ymca.int)

Twitter & Instagram: @WorldYMCA

Facebook: <https://www.facebook.com/ymcas>